

令和5年度
南風原町地域公共交通会議
第1回

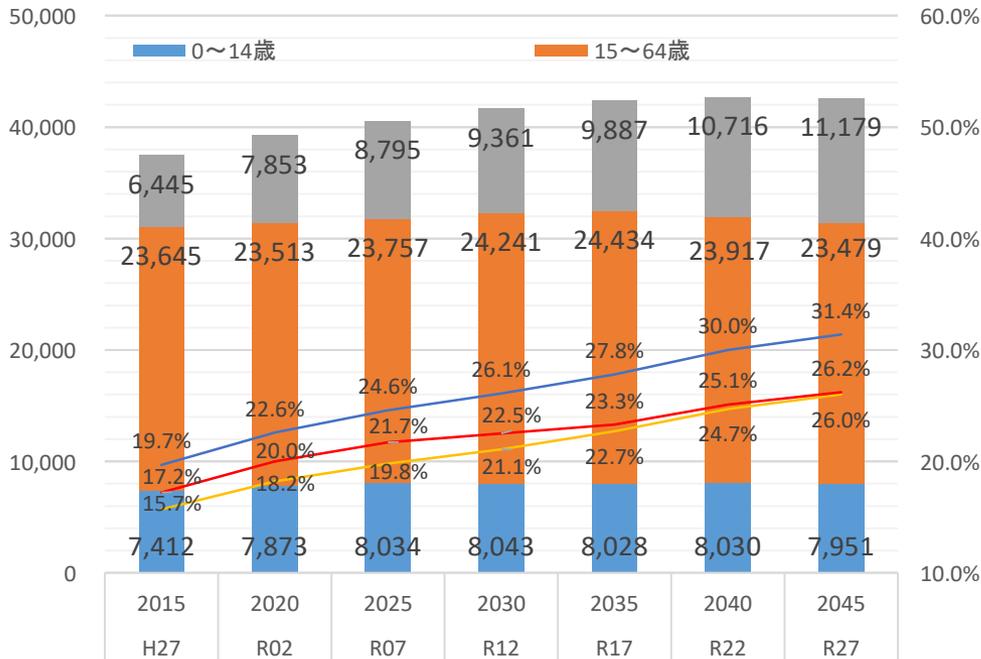
【地域公共交通の現状及び課題】

令和6年1月23日
南風原町 まちづくり振興課

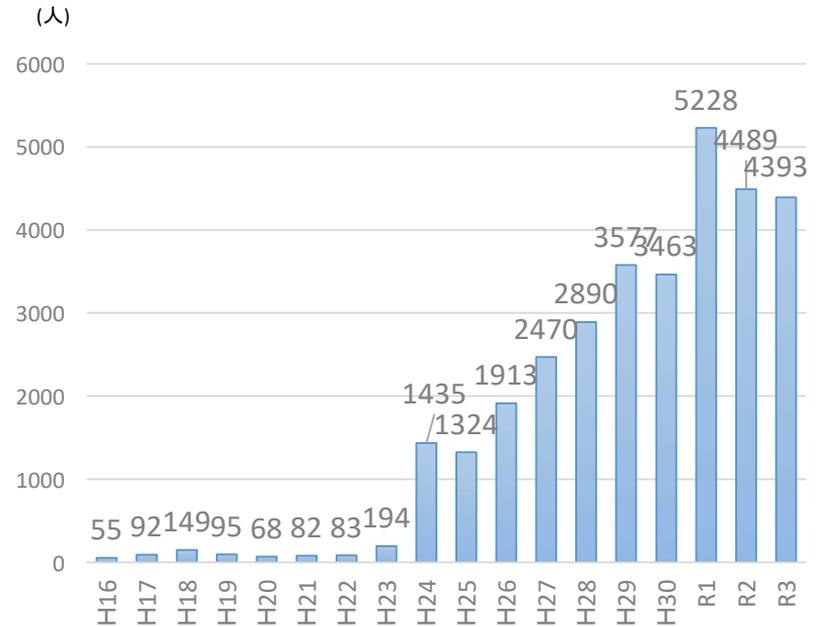
■南風原町における公共交通の課題（人口）

- 町の人口は2015から2040年の25年間で、約3.7万人から約4.2万人(ピーク)へと増加が予想されているものの、高齢化率も増加傾向にあり、2040年に高齢化率約25%に達すると予想されている
- 運転免許返納者数も年々増加している
- 今後は、人口増加や高齢化を見据えた公共交通展開が必要となることが考えられる

■人口の推移



■運転免許返納者数



出典：沖縄県警察交通白書（令和3年度版）

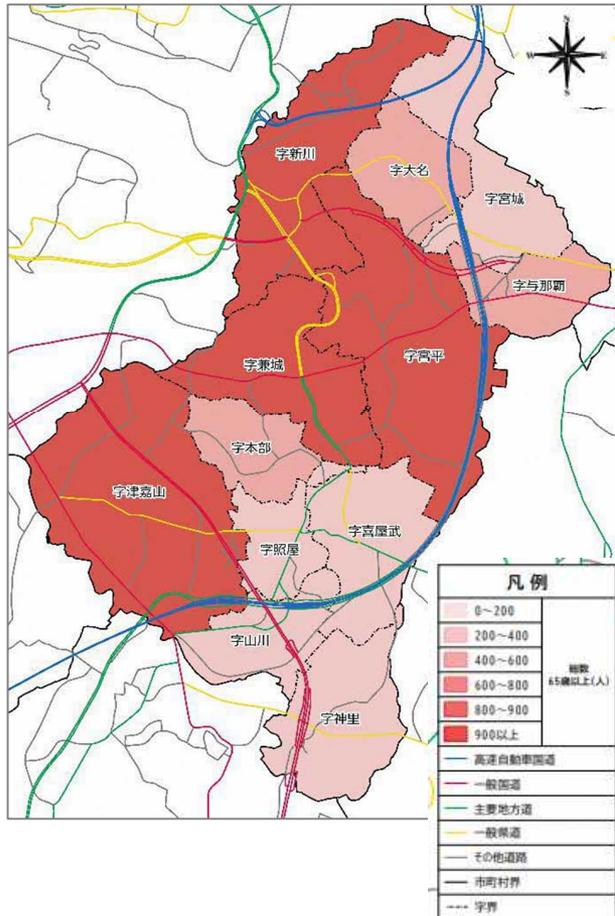
南風原町都市計画マスタープラン
目標年次

出典：国立社会保障・人口問題研究所（H30推計）

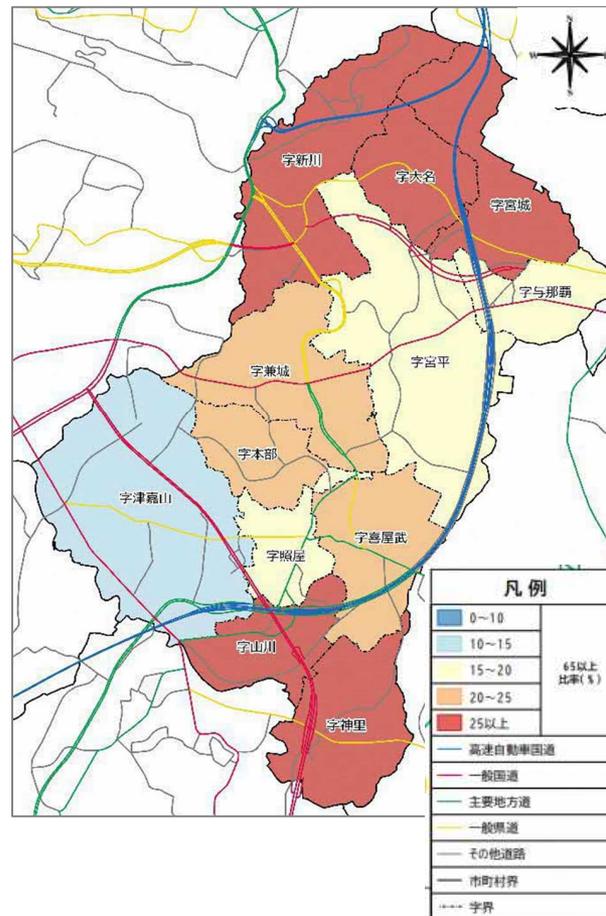
■南風原町における公共交通の課題（人口）

- 地域別の65歳以上人口では、津嘉山、宮平、兼城、及び新川の4地域が900人以上
- 65歳以上の高齢化率では、新川、大名、山川及び神里が25%以上
- 高齢者単身世帯では、本町中心部や津嘉山地区等に集中

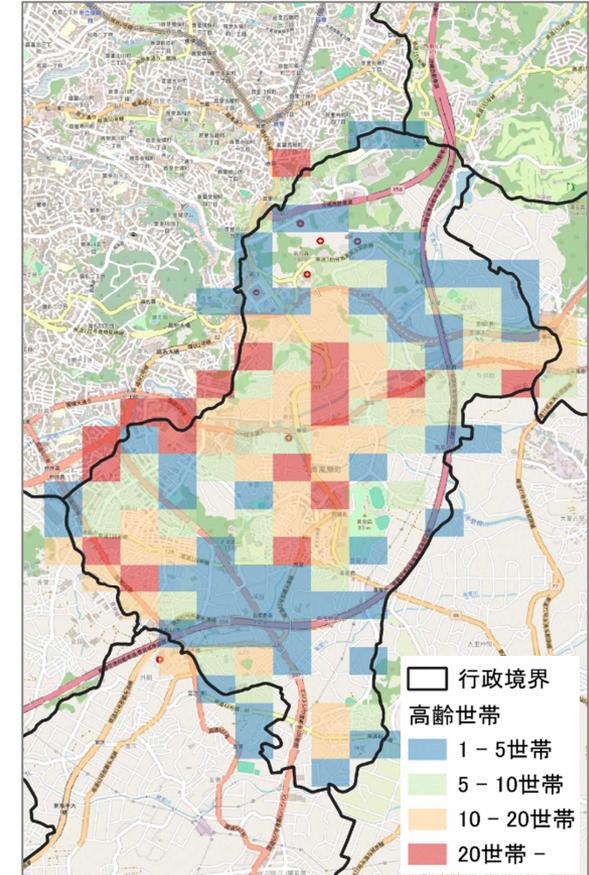
■地区別高齢者人口(65歳以上)



■地区別高齢化率(65歳以上)

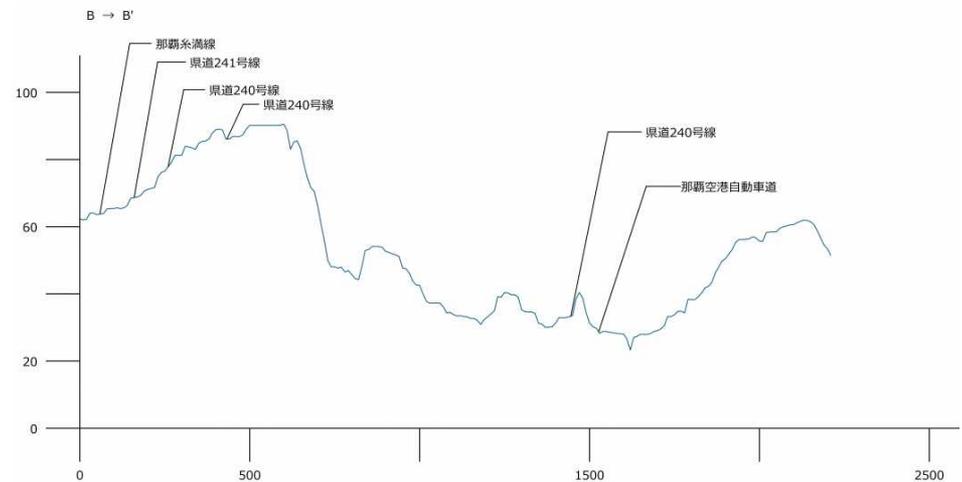
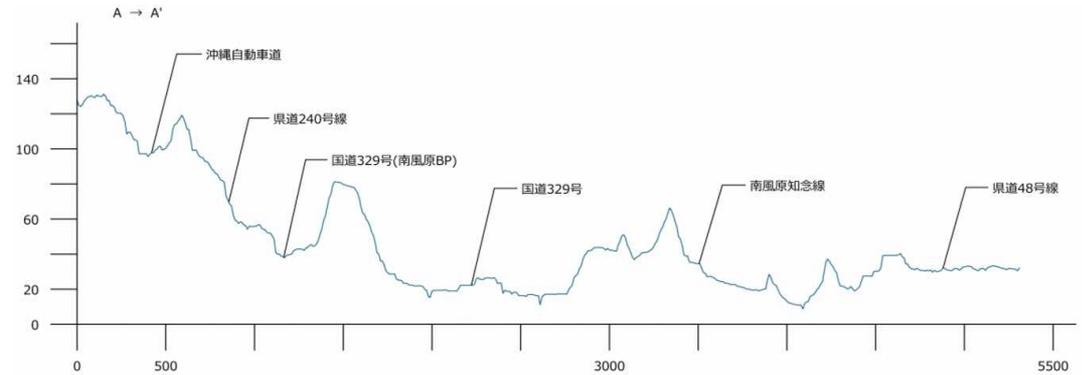
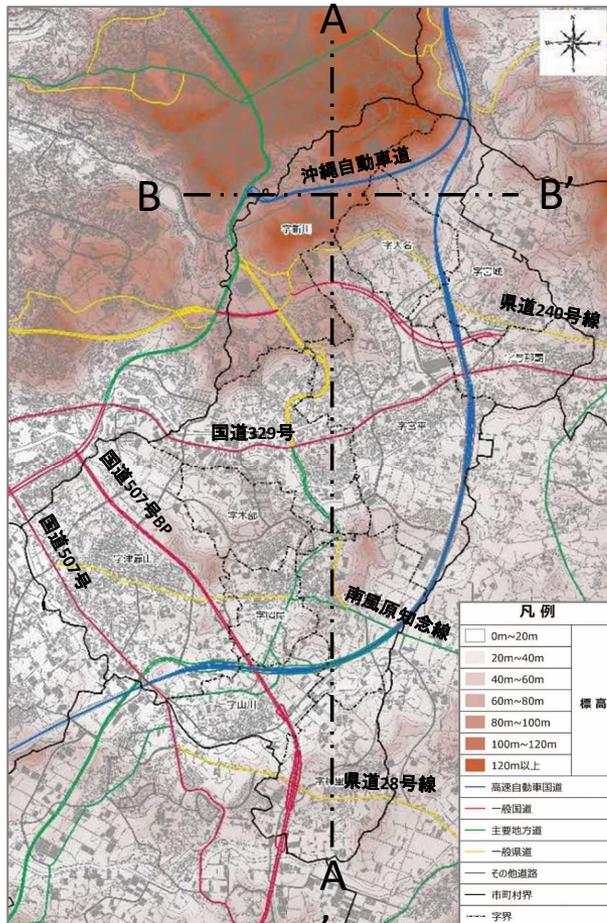


■高齢者単身世帯(65歳以上)



■ 南風原町における公共交通の課題（地形）

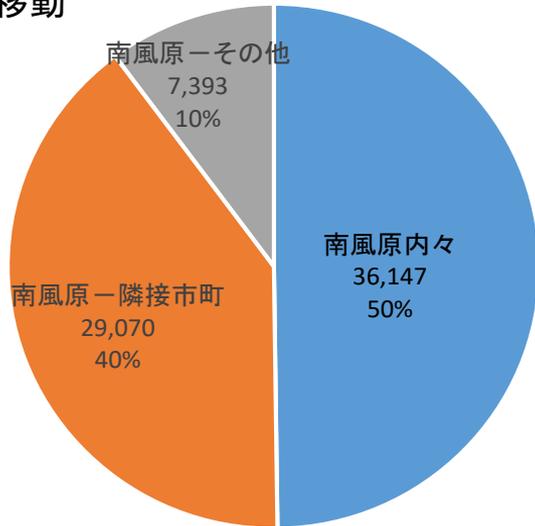
- 国道329号を境に南側は平坦地が広がっているが、北側の地形に高低差が生じており、徒歩・自転車による移動が困難な地形となっている



■南風原町における公共交通の課題（移動手段分担率）

- 南風原町民の移動は、1日あたり約80,000トリップで、そのうちの約50%が町内々、約40%が隣接市町内外を占め、隣接市町と同様な傾向
- 町内々における移動分担率は自動車が約58%、徒歩が約37%、路線バスによる移動は約0.8%
- 隣接市町への移動分担率は自動車が約78%、路線バスによる移動は7.7%
- 町民全体の移動の約71%が自動車に偏っており、公共交通の利用が約3%に留まっている

■町民の移動



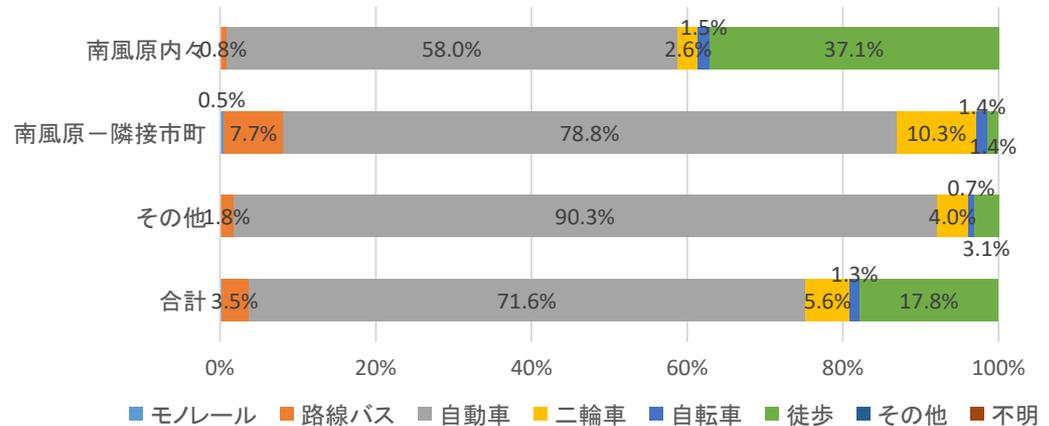
南風原町民のトリップ: 80,250トリップ
南風原町に関するトリップ: 72,600トリップ

* **パーソントリップ調査**とは、人の移動に着目し、どのような人が、どのような目的で、どこからどこへ、どのような時間帯に、どのような交通手段で「移動しているか」を把握する目的として実施しています。

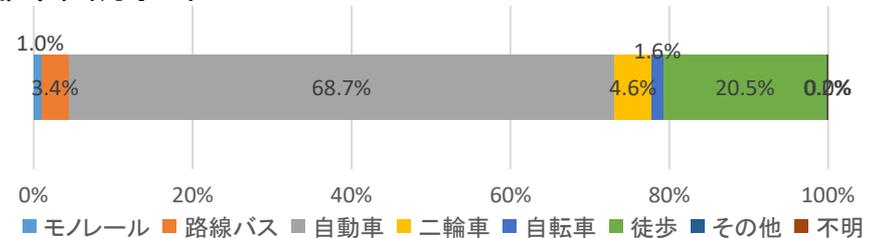
* **トリップ**とは、ひとがある目的をもってある地点からある地点まで移動すること。

* 1回の移動で、複数の交通手段を用いた場合でも1トリップとなる。

■南風原町OD別分担率



■中南部都市圏分担率

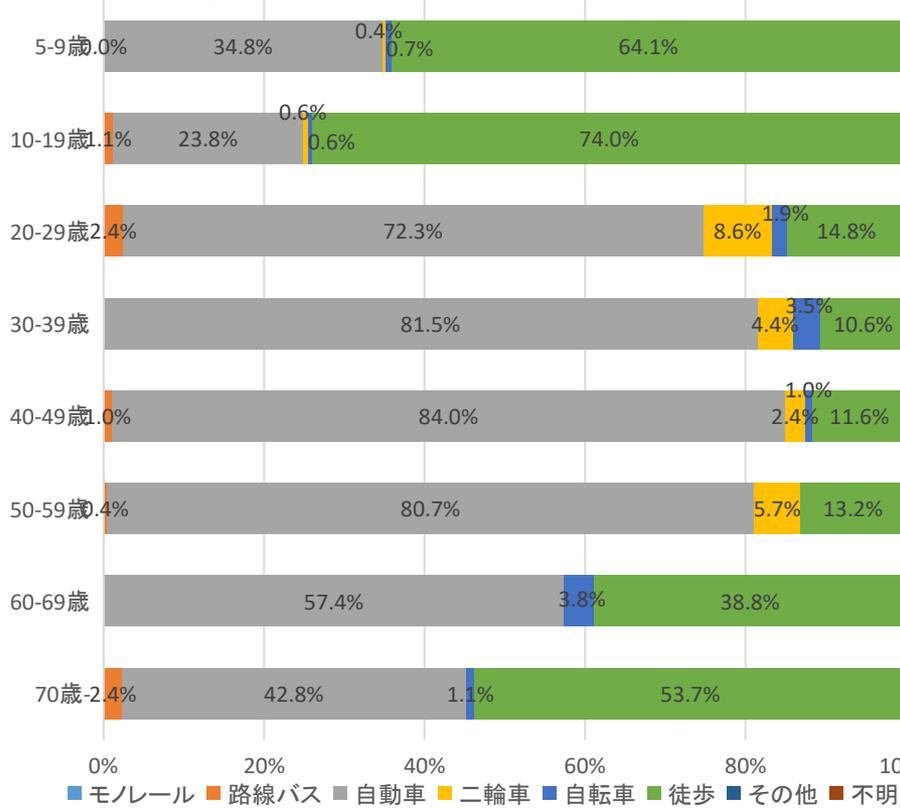


■南風原町における公共交通の課題（移動手段分担率）

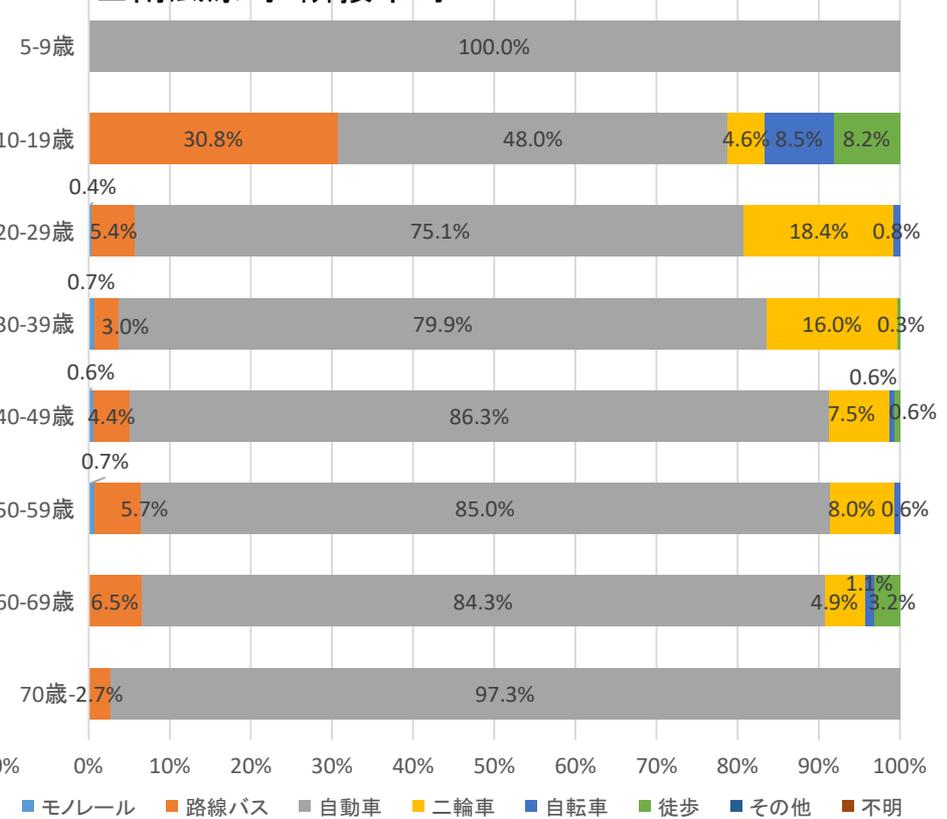
- 町内々の移動で20歳以上では自動車による移動が高い値を占めているが、20歳未満及び60歳以上の徒歩割合が高く、隣接市町への移動では10代のバス利用が約30%を占めている

(1) 年齢階層別分担率

■南風原町内々

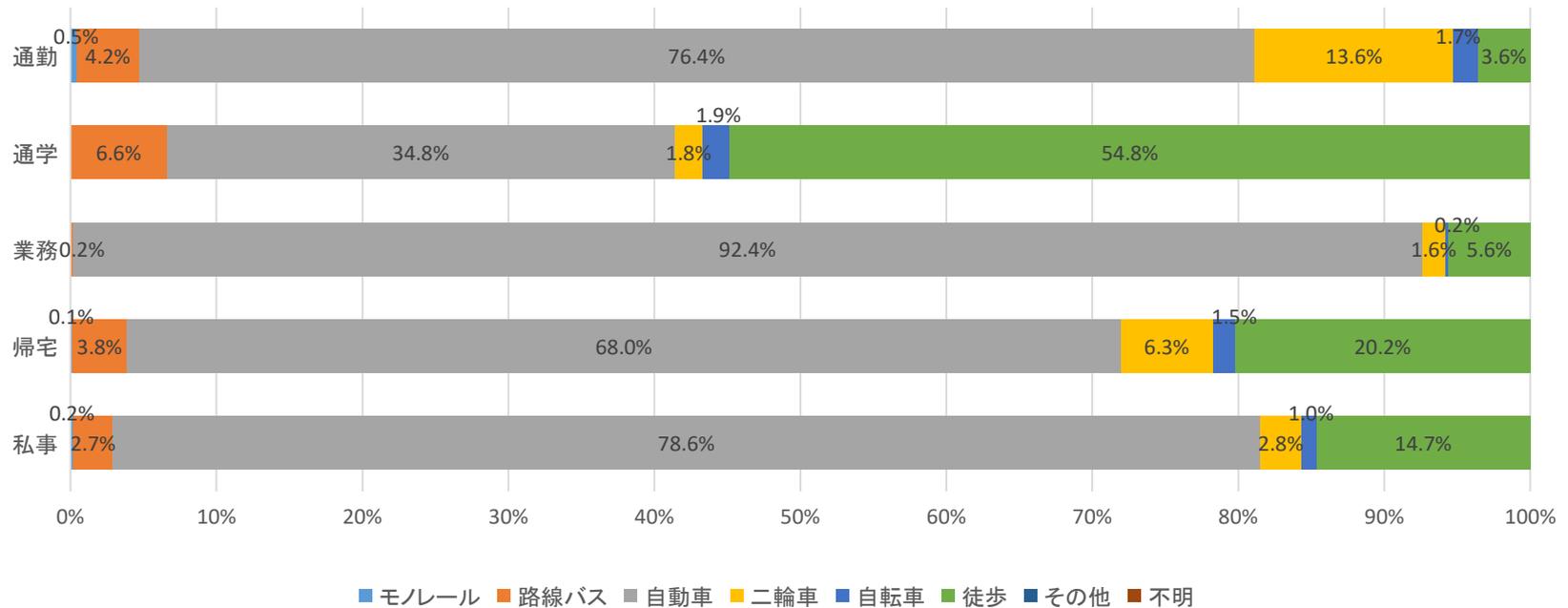


■南風原町-隣接市町



■ 南風原町における公共交通の課題（移動手段分担率）

- 通勤時における分担率は、自動車が最も多く約76%、二輪車が約13.6%となり、路線バスでは約4%
- 通学時における分担率は、徒歩が最も多く約54%、自動車が約34%、路線バスでは約6%
- その他の移動目的では約70%以上が自動車で移動し、路線バス利用は約4%以下で、圧倒的に自動車での移動が主である

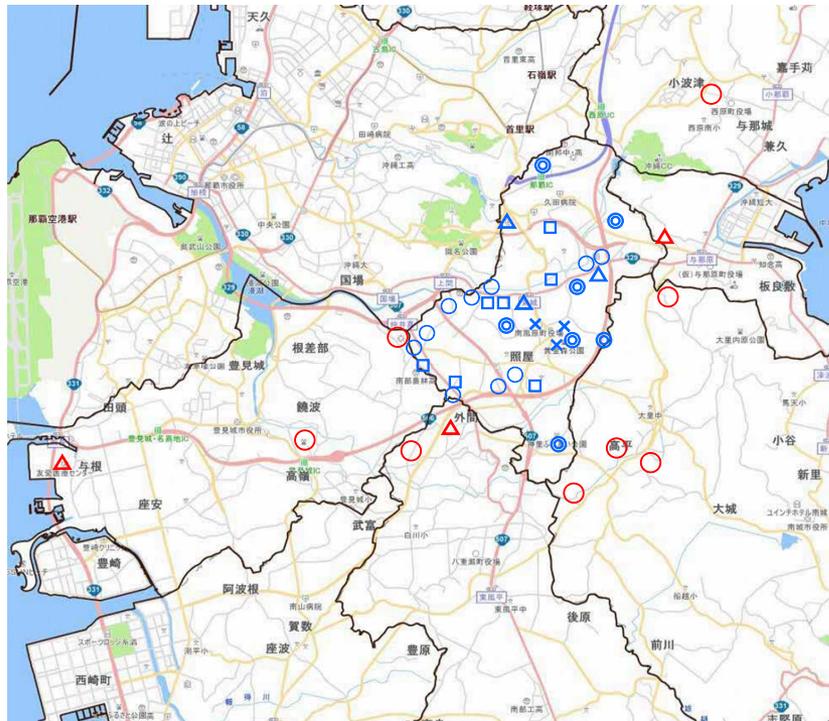


出典：第3回中南部都市圏パーソントリップ調査（H18）

■南風原町における公共交通の課題（移動ニーズ）

- 町民の主な日常移動となる買物、通院等の移動は町内移動が中心となっているが、隣接する市町への移動もみられる
- えんぺんぶ
町の縁辺部に位置する商業、医療施設への移動支援の検討も必要と考えられる

○: 商業施設 △: 医療施設 ◎: 公園 ×: 公共施設
□: 遊戯施設、手続き 青: 町内 赤: 町外

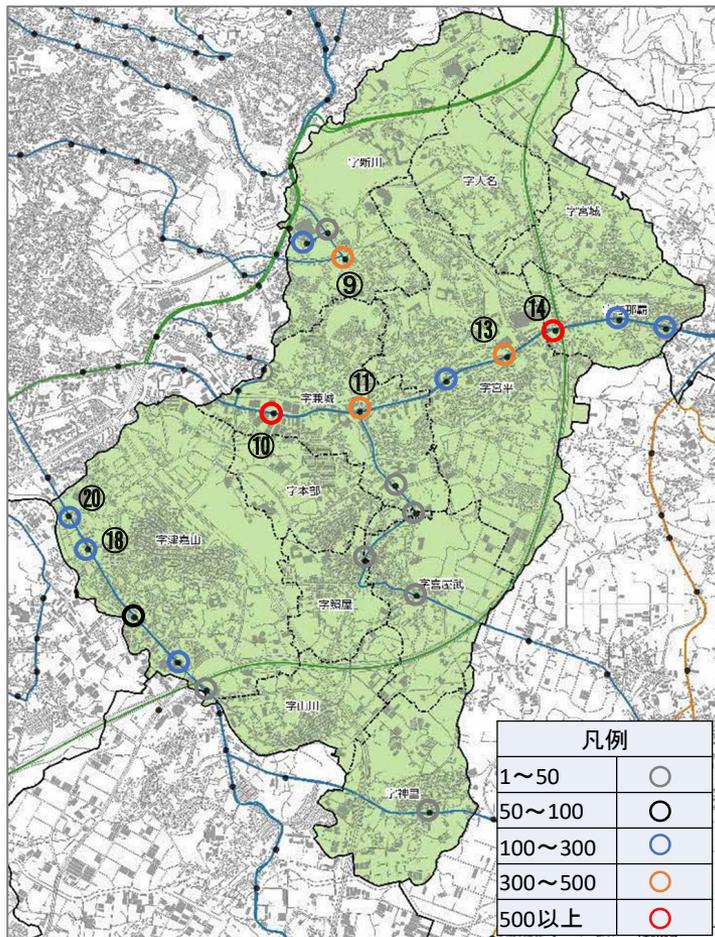


項目	良くいく場所・施設	備考
商業施設 (買物)	イオン南風原、津嘉山サンエー、丸大、メイクマン、くがに市場、マックスバリュ、かねひで、ユニオン、ふく薬局、Big	町内
	サンエー(南城、八重瀬、豊見城)、イオン(南城)、うんたま市場(西原)、アグリ(八重瀬)、アール(南城)ダイレックス(那覇)	町外
医療施設 (通院)	南部医療センター、沖縄第一病院、南部保健所、吉クリニック、えびす耳鼻科、照屋整形、	町内
	与那原中央病院(与那原)、南部徳洲会病院(八重瀬)友愛医療センター(豊見城)	町外
公園 (健康増進)	黄金森公園、宮城公園、ウガンヌ前公園、本部公園、神里ふれあい公園、花水緑の大回廊公園、環境の杜	町内
公共施設等	町役場、中央公民館(図書館)、ちむぐる館(社協)、各の公民館	町内
手続き等	JA南風原支店、町内銀行、	町内
遊戯施設	サザンヒル、ラウンドワン、トマト	町内
飲食	マック、ちら一小、いろり亭、ていーら、きちんと、大戸屋、	町内
	あさと家	町外
その他	那覇バス新川営業所、ガソリンスタンド、コンビニ、寿スイミング	町内

■ 南風原町における公共交通の課題（路線バス）

- 町内の路線別のバス利用者数は、国道329号が最も多く65.1%、次に国道507号で18.1%、県道241号線で12.3%と、この3路線で全体の約96%を占める
- 路線バスによる町内の縦断方向の移動は困難

単位：人/日



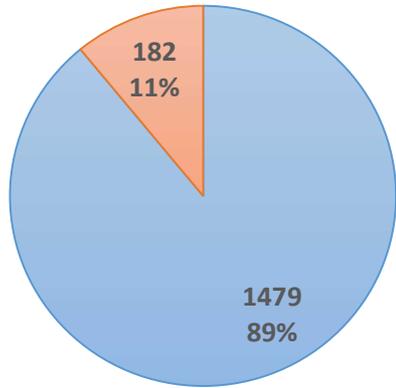
バス停名		乗車数	降車数	合計	路線別利用	
1	神里	14	10	24	県道48号線	24
2	兼城十字路	22	27	49	県道82号線	128
3	南風原町役場前	14	10	24		
4	福祉センター入口	11	11	22		
5	照屋	16	17	33	県道86号線	15
6	喜屋武	8	7	15	県道241号線	463
7	県立医療センター	5	113	118		
8	県立医療センター東口	6	10	16		
9	新川営業所	17	312	329	国道329号	2,442
10	印刷団地前	328	262	590		
11	兼城十字路	212	253	465		
12	当間原	119	130	249		
13	宮平	189	184	373		
14	南部保健所前	206	306	512		
15	第一与那覇	50	51	101		
16	与那覇	75	77	152	国道507号	680
17	翔南製糖前	130	99	229		
18	津嘉山	84	102	186		
19	川下原	38	49	87		
20	徳洲会病院入口	81	61	142	町道	1
21	山川	36	0	36		
22	真地団地入口	0	0	0		
23	盲学校前	1	0	1		
計		1662	2091	3,753		

出典：沖縄県 H25バス利用実態調査結果

南風原町における公共交通の課題（路線バス）

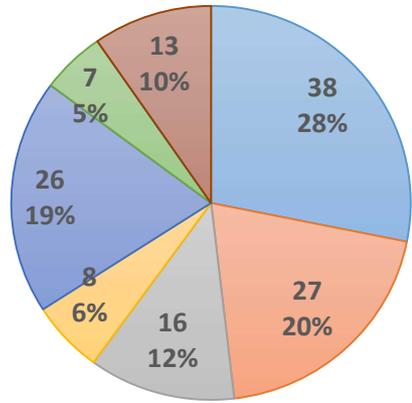
- 町内のバス停から乗車した利用者のうち、町外移動は89%、町内々移動は11%
- 町内移動は通勤、通学、買物が主な目的となり、通院は6%程度に留まっている
- 内々移動で利用されるバス停は主に国道329号に集中

■町内移動利用者の実態



■ 内外移動 ■ 内々移動

■町内移動利用者の移動目的



■ 1_通勤 ■ 2_通学 ■ 3_仕事・業務
■ 4_通院 ■ 5_買物 ■ 6_娯楽・飲食

■バス停別町内移動利用者数

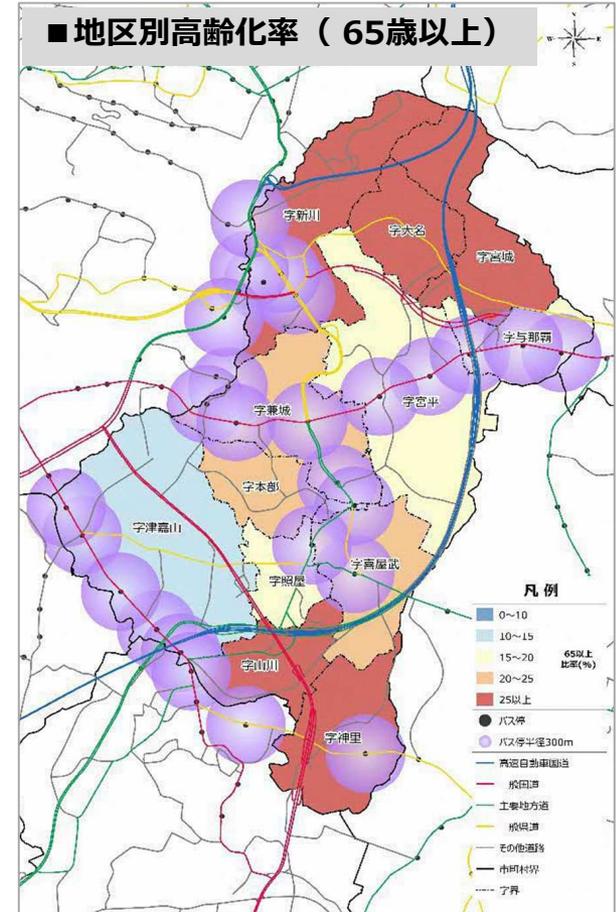
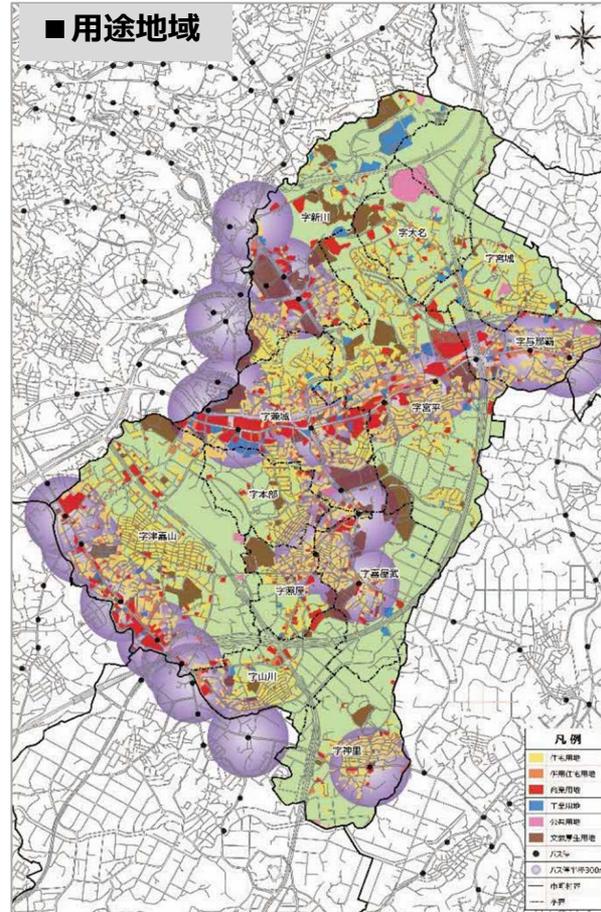
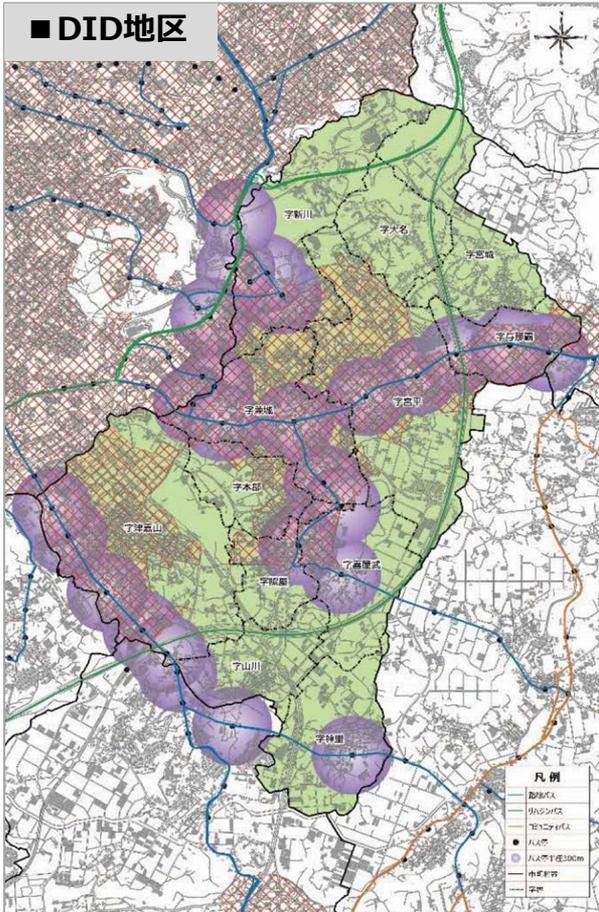
バス停名	乗車数	降車数	合計	路線別
1 神里	3	0	3	48
2 兼城十字路	2	4	6	82
3 南風原町役場前	4	5	9	
4 福祉センター入口	0	1	1	
5 照屋	2	0	2	
6 喜屋武	2	1	3	86
7 県立医療センター	2	1	3	241
8 県立医療センター東口	0	0	0	
9 新川営業所	0	1	1	
10 印刷団地前	48	39	87	
11 兼城十字路	22	18	40	329
12 当間原	6	17	23	
13 宮平	39	25	64	
14 南部保健所前	7	22	29	
15 第一与那覇	8	5	13	
16 与那覇	21	18	39	
17 翔南製糖前	6	11	17	
18 津嘉山	0	1	1	
19 川下原	2	1	3	
20 徳洲会病院入口	8	6	14	
21 山川	0	0	0	507
22 真地団地入口	0	0	0	
23 盲学校前	0	0	0	
計	182	176		町道

■主な内々移動の目的地

乗車バス停	目的地	人数
① 印刷団地	宮平	11
	南部保健所前	11
	与那覇	9
② 宮平	印刷団地前	23
	兼城十字路	7
	第一与那覇	4
③ 兼城十字路	宮平	8
	南部保健所前	8
	与那覇	3
④ 与那覇	宮平	4
	兼城十字路	7
	当間原	5

■ 南風原町における公共交通の課題（路線バス）

- バス停圏域において、町内のDID地区や都市的土地利用(市街地等)の50%以上をカバーしているが、幹線道路から外れた地域では公共交通空白地域となっている



面積単位：ha

	面積	バス停カバー圏域		備考
		面積	カバー率	
全域	1,076.0	401.73	37.3%	* 土地利用(都市的)：住宅、供用住宅、商業、工業、公共文化厚生等を対象(市街地等)として計上 バス停圏域：バス停を中心に半径300m (徒歩5分程度)
DID地区	421.0	267.60	63.6%	
土地利用	380.28	205.75	54.1%	

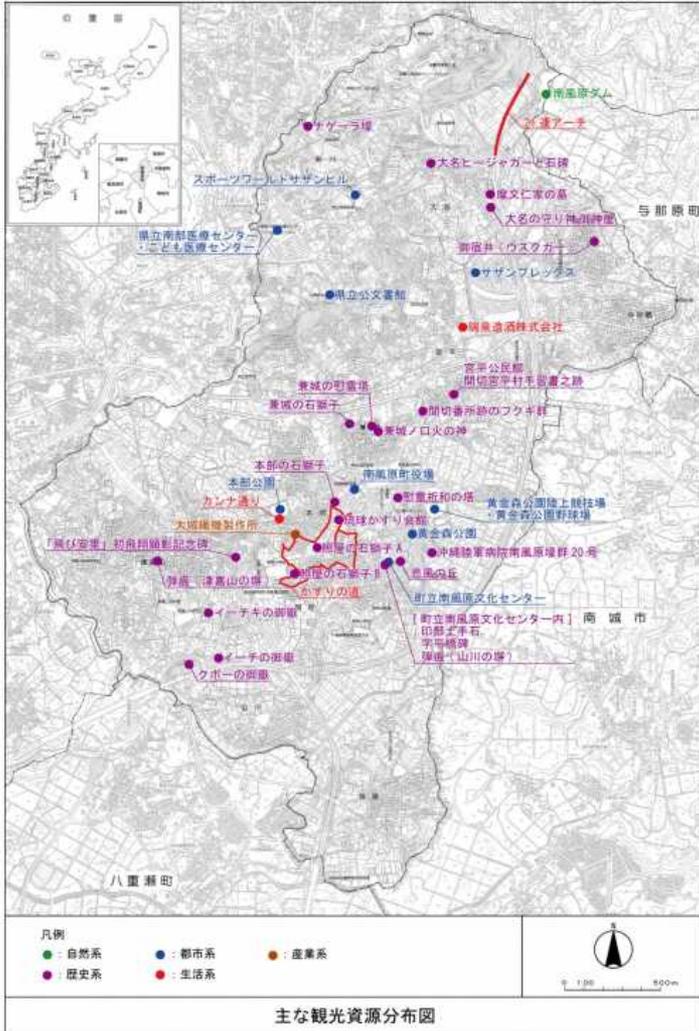
出典：平成28年度
都市計画基礎調査

出典：令和2年国勢調査

■ 南風原町における公共交通の課題（観光）

- 本町内の観光資源は町内に広く分布し、また、各集落内に多く位置していることから、駐車場の確保・整備が課題となっている

■ 観光資源の分布



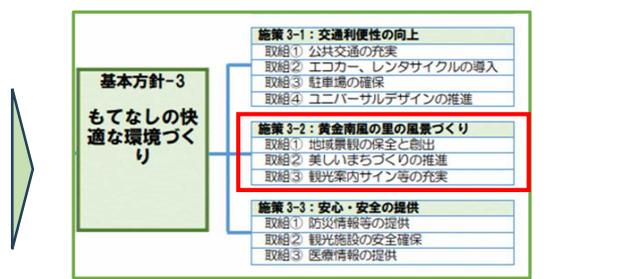
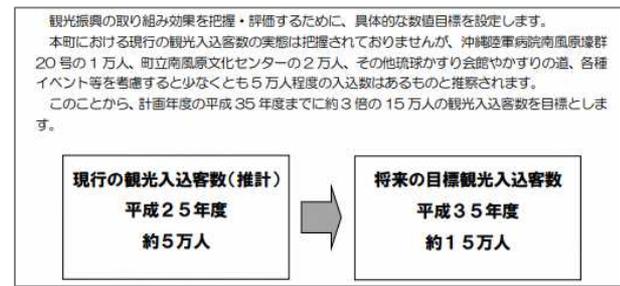
■ 主な観光資源



■ 施策体系



■ 目標水準



■南風原町における公共交通の課題（移動支援事業）

- 本町内においては、一定の基準を満たした高齢者へタクシーチケット配布による移動支援を実施
- 申請率は対象想定世帯の約27%、利用率は36%となっている（R5年の利用状況 約17件/世帯）

■南風原町移動支援

支援事業内容																													
事業概要	75歳以上で町民税非課税世帯の高齢者がタクシー(介護タクシーを含む。)を利用する場合に、経済的負担の軽減や日常生活の利便性向上を図るため、タクシーの初乗り運賃相当額560円を助成します。																												
対象者	① 75歳以上の独居高齢者世帯 ② 75歳以上の高齢者のみ世帯 ③ 75歳以上の高齢者と障害手帳等を所持している同居者のみで構成している世帯																												
助成内容	タクシー初乗り運賃相当額560円のチケットを、一世帯につき一月4枚を申請の月から翌月3月分を交付します。 ※介護タクシー利用時も560円とする。																												
利用状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>想定人数</td> <td colspan="2">約150世帯</td> <td colspan="2">約150世帯</td> </tr> <tr> <td>申請者数</td> <td>29世帯</td> <td rowspan="2">申請率：19%</td> <td>41世帯</td> <td rowspan="2">申請率：27%</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>29世帯</td> <td>41世帯</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>501件</td> <td>利用率：36%</td> <td>701件</td> <td>利用率：36%</td> </tr> <tr> <td>利用金額</td> <td colspan="2">280,560円</td> <td colspan="2">396,480円</td> </tr> </tbody> </table>		R4		R5		想定人数	約150世帯		約150世帯		申請者数	29世帯	申請率：19%	41世帯	申請率：27%	利用者数	29世帯	41世帯	利用件数	501件	利用率：36%	701件	利用率：36%	利用金額	280,560円		396,480円	
		R4		R5																									
	想定人数	約150世帯		約150世帯																									
	申請者数	29世帯	申請率：19%	41世帯	申請率：27%																								
	利用者数	29世帯		41世帯																									
利用件数	501件	利用率：36%	701件	利用率：36%																									
利用金額	280,560円		396,480円																										
備考	いずれも町民税が非課税世帯(介護保険施設及び老人ホーム入所者を除く。)で自家用車がなく、町内や近隣市町村に協力的な親族等がない方。 ※世帯分離されている世帯も同世帯として含みます。																												

■民間送迎(参考)

送迎内容
<p>【ラウンドワン 沖縄・南風原店】</p> <p>■平日：8便(14～22時)、休日：14便(8～22時)</p> <p>■運行車両：マイクロバス</p> 
<p>【イオン南風原店】</p> <p>■6便(12～18時)</p> <p>■運行車両：マイクロバス</p> 
<p>【株式会社NB沖縄】</p> <p>■事業内容 スイミング事業、フィットネス事業、介護予防事業</p> <p>■送迎ルート(運行車両：マイクロバス) 那覇、南風原、与那原、豊見城、八重瀬・南城コース</p>
<p>【有限会社寿ランド】</p> <p>■事業内容 スイミングスクール、デイサービス、児童発達支援・放課後等デイサービス、学童クラブ等</p> <p>■送迎ルート(運行車両：マイクロバス 3便/日 15～19時) 南風原、那覇、佐敷、知念、西原、大里、玉城コース等</p>

□課題の整理

□ 住民の生活を支える公共交通環境の形成

- 人口は増加傾向にある中、高齢者人口の割合が増加しており、今後増加が見込まれる運転免許返納者等の生活を支える移動手段の確保が必要。
- 本町の北部地域の地形は高低が大きく、高齢者の徒歩や自転車での移動が困難であり、地形に影響されない移動手段の確保が必要。

□ 町内外の公共交通が連携した利便性の高い公共交通ネットワークの形成

- 本町を通過する路線バスは、主に横断方向の幹線道路がルートとなっていることから、本町の縦断移動や幹線道路からはずれた公共交通不便地域を考慮した移動手段の確保が必要。
- 町民の日常移動のニーズは主に町内に位置しているが、一部のニーズにおいて町縁辺部(町外)もあり、細かな移動ニーズに対応できる移動手段の検討が必要。

□ 観光移動を支援する交通環境の形成

- 駐車場が不足する本町内の観光施設の移動を支援する移動手段の検討が必要。

□ 住民の公共交通利用促進

- 住民ワークショップにおいて、高齢者の自宅(目的地)からバス停までの移動課題が指摘されていることから、高齢者の徒歩移動の負担軽減を考慮した移動支援システムの検討が必要。
- 本町が実施しているタクシーチケットを用いた移動支援について、登録率、利用率が低い傾向となっていることから、移動困難者が利用しやすい移動支援システムの構築が必要。
- バス停へのアクセス性の課題から町民の移動手段が自家用車に偏っている。バス停へのアクセス性向上を図り、公共交通への転換を促す検討が必要。



□実証運行に向けて

- 南風原町における公共交通の課題から高齢者の徒歩移動の軽減、町民の移動ニーズ及び観光移動等の細かな拠点間移動への柔軟に対応できる移動システムが必要
- 令和6年度の実証実験では、細かな移動ニーズに対応できることが予想される「オンデマンド交通」により、町内の移動ニーズを把握